

小中高生の自殺、コロナ禍の2020年は過去最多479人

2学期が始まり3週間が経ちました。子供たちも落ち着いて学校生活を送っています。保護者にみなさまにおかれましては、新型コロナウイルス感染防止のための取組についてご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本日の新聞に児童生徒の自殺者数の増加についての記事が掲載されていました。これから熊本の未来を拓き、自らの夢を実現していくであろう子どもが…。と思うと胸が痛くなります。

大畑小学校では、定期的な「心のアンケート」及び「教育相談」「相談しやすい環境づくり」に努め、大畑小学校から一人も自死する児童が出ないように全力で取り組んで参ります。

ご家庭でもお子様の様子をしっかりと観察され、何かなる言動等がありましたら、いつでも学校へお知らせください。

また、以下に昨年の自殺数の状況や相談窓口を記載しておりますのでご覧ください。

2020年の児童生徒の自殺者数は過去最多となる479人でした。

近年は、微増傾向が続いていましたが、コロナ禍となった2020年は前年比140人増と急増しました。

月別では、8月64人、9月53人、11月48人、6月45人と、新型コロナウイルス感染症による休校や夏休みといった長期休暇明けなどに多い傾向にあります。

学校種別では、小学生14人（男子4人、女子10人）、中学生136人（男子74人、女子62人）、高校生329人（男子191人、女子138人）。自殺の原因・動機では、「進路に関する悩み」55人、「学業不振」52人、「親子関係の不和」42人の順でした。

文部科学省では、SOSの出し方に関する教育を含む自殺予防教育について、実態把握や実施に向けた環境整備などが示されています。

このほか、文部科学省などでは、「24時間子どもSOSダイヤル」などSNSなどを活用した相談事業、「スクリーニング活用ガイド」など児童生徒が抱える悩みや困難の早期発見のためのツール提供、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置などを行っています。

次ページから、資料を掲載しますので、自殺予防の資料として活用ください。

- 1 文部科学大臣からのメッセージ
 - (1) 小学生のみなさんへ
 - (2) 保護者や学校関係者のみなさまへ
- 2 児童生徒の月別自殺者数 [推移] (厚生労働省・警察庁)
- 3 24時間子供SOSダイヤル
- 4 児童生徒の主な相談窓口一覧

※ 3及び4については、どうしても身近な人に相談できないときの、相談窓口となり、未然防止にもつながります。